

2015年度 事業報告書より（抜粋）

【創立・開館50周年記念事業】

展示室改修 2015年12月～2016年2月に改修工事を実施

約50年ぶりに新装となった展示室では、リニューアル記念「近代文学の150年」展(2016年4月～6月)に引き続き、「近代の詩歌Ⅰ」展(9月17日まで)、「漱石—絵はがきの小宇宙」展(9月24日～11月26日)を開催します。

【資料収集】

「志賀直哉コレクション」を受贈(原稿・草稿など396点、あて書簡など5,340点をはじめ、計11,886点)

所蔵資料総点数 1,149,111点

| | 特別資料 | 図書 | 雑誌 | 写真 | 視聴覚資料 | 寄託 |
|-----|---------|----------|----------|--------|-------|------------|
| 本年度 | 1,169点 | 3,451冊 | 6,307冊 | 0枚 | 34点 | 1件解除 |
| 累計 | 83,456点 | 481,241冊 | 578,786冊 | 5,423枚 | 205点 | 64件10,927点 |

【閲覧等サービス】 []内は前年数

| | | |
|------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 閲覧 | 閲覧日数 234日[231日] | 閲覧者数 1,733人[1,651人] |
| 資料複写サービス | 1,584件33,062枚(うち学割は244件5,900枚) | [1,644件41,240枚(うち学割は[281件7,432枚])] |
| 資料写真サービス | 603件2,166枚[491件1,858枚] | |
| レファレンスサービス | 599件[663件] | |
| 成田分館 | 開館日数23日[22日]、展示来観者2人[7人]、閲覧者6人[1人] | |

【展覧会】

① 春季展示 4月4日～6月13日(44日間、1,427人)

企画展「少年少女雑誌にみる近代」展(編集委員:安藤宏、池内輝雄、久米依子、浜田雄介)
川端康成記念室＝「川端康成と『文藝時代』の人びと」

4月3日、内覧会。主催者挨拶:池内輝雄副理事長、展示解説:久米依子、出席者24人

② 秋季展示 9月26日～11月28日(44日間、1,702人)

特別展「高見順という時代—没後50年」展

(編集委員:荒川洋治、安藤宏、池内輝雄、宮内淳子、武藤康史)

川端康成記念室＝「川端康成と高見順」

9月25日、内覧会。主催者挨拶:池内輝雄副理事長、

展示解説:宮内淳子、武藤康史、出席者25人

9月26日、11月3日、高見順文学振興会主催・当館協力により記念講演会を開催。

9月26日講師:池内紀「高見順の蹉跌」 11月3日講師:荒川洋治「高見順と現代」

③ 通常展(レプリカ、複製版、写真などによる)

「近代文学の名作 昭和」6月27日～9月19日(59日間、948人)

④ 全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ 『震災を書く』」
3月11日～26日(11日間、220人)

展示企画貸出

・北九州市立文学館「夏目漱石—漱石山房の日々」展(5月2日～6月21日)

・菊池寛記念館「夏目漱石—漱石山房の日々」展(8月29日～10月4日)

【講座・講演会】

○ 文学館へ行こう!(文学館を知りたい方へ—利用案内講座) (受講者 計58名)

4月25日、5月23日、10月31日 講師:中島国彦 10月3日 講師:紅野謙介

○ 資料は語る 2015年度「文学と挿画のコラボレーション」 (受講者 計199名)

1. 4月18日 関礼子:明治下町の情感 樋口一葉「にぎりえ」と鏑木清方

2. 5月16日 十川信介:漱石「明暗」と名取春仙の挿絵

3. 6月26日 日高昭二:大正ロマンの傑作 菊池寛「真珠夫人」と鱈崎英朋

4. 9月19日 千葉俊二:関西モダニズムの世界 谷崎潤一郎「蓼喰ふ虫」と小出楢重

5. 10月17日 五十殿利治:村山知義と新聞紙

6. 11月21日 浜田雄介:探偵小説の大仕掛け 江戸川乱歩「黄金仮面」と吉邨二郎

○ 声のライブラリー 自作朗読と座談会 (受講者 計160名)

第81回 5月9日 朗読:西成彦、榎木伸明 司会:伊藤比呂美

第82回 9月12日 朗読:新井高子、若松英輔 司会:伊藤比呂美

第83回 11月14日 朗読:西部邁、城戸朱理 司会:佐藤洋二郎

第84回 2月13日 朗読:江代充、岩城けい 司会:小池昌代

○ 第52回 夏の文学教室 「『歴史』を描く、『歴史』を語る」 (聴講者 計3,070人)

(読売新聞社後援、7月20日～25日、有楽町・よみうりホール、初日は谷崎潤一郎没後五〇年特集)

講師:水原紫苑、藤田宜永、島田雅彦、中島京子、和田竜、浅田次郎、木内昇、池内紀、山田太一、黒川創、堀江敏幸、町田康、山崎佳代子、川本三郎、荒川洋治、伊藤比呂美、いとうせいこう、高橋源一郎

○ 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理(8月25日～29日) 参加者:19大学ほか39名

講師:安藤宏、池内輝雄、紅野謙介、坂上弘、東郷克美、十川信介、中島国彦、日高昭二、宮内淳子、宗像和重、和田博文、事務局職員

○ 文学館職員研修講座(1月27日～29日) 参加:7館7名

【刊行物】

紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第11号 2016年3月20日刊行